

地域経済好循環推進プロジェクト

～為替変動にも強い地域の経済構造改革と地方からのGDPの押し上げ～

公表済みの統計データ

- 平成21年経済センサス-基礎調査-
- 平成24年経済センサス-活動調査-等

(オープンデータの活用)

経済理論

- 修正特化係数(※)が1より大きい産業が地域の外から稼いでいる産業(基盤産業)の目安
- 基盤産業の労働者数の維持が人口維持の鍵

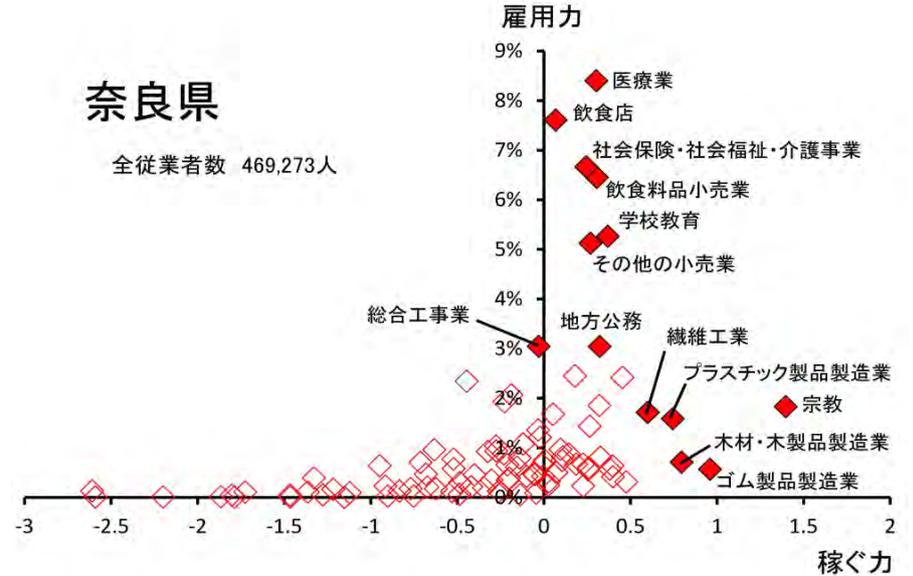
※ 修正特化係数とは(具体例)

奈良県の繊維工業従事者比率(約1.7%)を日本全体の繊維工業従事者比率(約0.7%)で割った値(約2.5)が奈良県の繊維工業の特化係数。修正特化係数はそれを輸出入額で調整したもの。

地域の産業・雇用創造チャート

奈良県

全従業者数 469,273人



※ 「稼ぐ力」とは、修正特化係数を対数変換したもの。修正特化係数が1以上の産業は0以上、1未満の産業は負になる。

「地域の産業・雇用創造チャート」の機能

- 地域の産業の強みと弱みが判明
- 潜在的な創業機会の判明
- 既存産業の競争力リスクの判明

チャートを活用した地域産業政策

- 外部市場を開拓し、域内型産業を強化
- 地域資源を活かした創業支援
- 既存の基盤産業の高付加価値化による再生

※地域経済分析システム(まち・ひと・しごと創生本部)と相互連携

創業支援事業計画に基づき
様々なビジネスモデルを構築

※全国からモデルとなる地区を選定して、全国で共有